

# 特定健康診査等の実施状況

平成27年4月末現在

市町村名	〇〇町		記載者職氏名	保健福祉課 保健グループ 保健師長 〇田〇子		
(1) 特定健康診査に関すること	達成しようとする目標		健診の対象者数	受診者数		実施率
	第二期最終年度の達成目標 (平成29年度)		1,126 人	675 人		60.0 %
	平成26年度の実施状況		1,250 人	416 人		33.3 %
	平成25年度の実施状況		1,107 人	402 人		36.3 %
特定健康診査実施体制	実施方法	区分	個別健診		集団健診	
		実施場所	医療機関で実施 ※機関数 (市町村外 0 箇所(再掲))		○ 保健センター ○ その他 ○ 地区会館 (合計 8 日間)	
		実施期間	通年で実施 実施月を指定( )		6 月 ~ 12 月 (延べ 2 回)	
		健診機関名				
	庁内体制	国保主管課で全て対応				
	他の健診との同時実施	有 同時実施の有無	①生活機能評価	○ ②胃がん	○ ③肺がん	○ ④大腸がん
被扶養者の健診受入れ	無 特定健診の有無	無	他の健診(がん検診など)との同時実施体制の有無			
他の健診結果等の受領	有 事業所及び商工会等の健診結果受領の有無	有	治療中者のデータ受領の有無			
特定健康診査を効果的に実施するための取組	① 受診しやすい体制の整備	土曜日、日曜日、早朝の時間帯を設定している。時間予約で待ち時間が少ないように工夫している。				
	② 制度周知	みなし健診でデータの提出依頼の際に説明。ホームページで実施している。国保連合会からのリーフレットを同封している。				
	③ 事業計画	第2次計画を平成25年度～平成29年度の期間で実施している。				
	④ 健診から保健指導までの期間	35日～40日程度				
	⑤ 保健指導プログラムの工夫	集団運動教室の利用など				
	⑥ 継続した保健指導実施体制	衛生部門の保健師と栄養士が実施している。				
	⑦ 地域の団体への働きかけや人材の有効活用	特になし				
	⑧ その他保険者の特徴的な取組み	特になし				
特定健康診査実施項目	有 健診自己負担額の有無	有りの場合の基準額( ¥1,000 円)				
	○ 検査項目について	基準に定める基本的な健診項目及び詳細な健診項目のとおり				
	○ 追加項目あり	追加項目の種類( HbA1c,クレアチニン、尿酸 )				
特定健康診査実施上の課題と対応策	○ 追加項目ありの場合、その対象者について	○ ・全員 ○ ・医師の判断による ・その他( )				
	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診者が固定している。</li> <li>・以前受診していた者が受診しなくなった。</li> <li>・農協や商工会でドック検診を受診している者は町の特定健診を受診しない。</li> <li>・医療機関を受診している者は、町の特定健診を受診しない。</li> </ul>				
	【対応策】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農協や商工会でドック検診を受診している者や医療機関を受診している者に対して、「みなし健診」としてデータの提出をお願いしている。</li> </ul>				

(2) 特定保健指導に関すること	達成しようとする目標		特定保健指導の対象者				利用数と利用率				終了数と終了率			
	第二期最終年度の達成目標（平成29年度）		93人				55人 59.1%				55人 59.1%			
	平成26年度の実施状況		動機付け支援		29人		25人		86.2%		16人		55.2%	
			積極的支援		14人		6人		42.9%		4人		28.6%	
	平成25年度の実施状況		動機付け支援		35人		27人		77.1%		29人		82.9%	
			積極的支援		9人		7人		77.8%		3人		33.3%	
	外部委託の有無		無 ※有の場合の委託先( )											
	保健指導体制		区分		保健師 常勤職員以外		管理栄養士 常勤職員以外		栄養士 常勤職員以外		健康運動指導士 常勤職員以外			
			国保	専任	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
			保健	専任	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
		兼任	4人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人		
特定保健指導以外の保健指導実施の有無		有 ※有の場合の対象者( 各項目受診勧奨レベル以上の者を対象。20～39歳で腹囲該当者。 )												
保健指導時の主な使用媒体（該当するものに○を入力ください） ※複数回答可		<input type="checkbox"/> ①確定版の教材集 <input type="checkbox"/> ②市町村独自で作成したオリジナル資料 <input type="checkbox"/> ③フードモデル <input type="checkbox"/> ④食事バランスガイド <input type="checkbox"/> ⑤エクササイズガイド <input type="checkbox"/> ⑥その他( 病態別のパンフレットなど )												
特定保健指導実施上の課題と対応策		①実施方法(日時・場所等)、②マンパワー、③特定保健指導対象外の保健指導(治療中者・痩せのリスク保有者)、④特定保健指導終了者の支援体制、⑤ポピュレーションアプローチなど 特定保健指導の対象者が同じとなることが多い。マンネリ化してしまうので自己の課題を受け止められ行動化できるために指導内容について検討する必要がある。①実施方法(日時・場所等)、②特定保健指導終了者の支援体制、③特定保健指導の内容												

(3) 特定健康診査等実施計画の評価	第二期の計画策定体制		①庁内評価検討会議の有無 無 ※有の場合のメンバー( )											
			②会議は設置していないが、関係部署で検討する場の有無 有											
			③評価や計画策定に他機関からの支援の有無 無											
特定健康診査実施計画の目標達成を困難にした要因		あてはまるものすべてに“○”を入力してください。 <input type="checkbox"/> ①受診しやすい健診体制 <input type="checkbox"/> ⑦継続した保健指導体制 <input type="checkbox"/> ②健診から保健指導までの期間 <input type="checkbox"/> ⑧制度周知 <input type="checkbox"/> ③他の健診と同時実施や健診項目について <input type="checkbox"/> ⑨保健推進員等の健康づくり組織や商工会との連携や、食品衛生協会などの地域団体の活用 <input type="checkbox"/> ④効率的な事業計画 <input type="checkbox"/> ⑩庁内体制 <input type="checkbox"/> ⑤他の健診結果や医療機関のデータ受領 <input type="checkbox"/> ⑪地域の特性 <input type="checkbox"/> ⑥特定保健指導のプログラムの工夫 <input type="checkbox"/> ⑫その他												
(4) データヘルス計画	データヘルス計画の策定について		策定した    平成27年度策定予定 <input type="checkbox"/> 未定											
	データヘルス計画策定の体制		①庁内評価検討会議の有無 無 ※有の場合のメンバー( )											
			②会議は設置していないが、関係部署で検討する場の有無 無											
(5) 今後に向けて	生活習慣病予防対策を推進するうえで、今後強化していきたいこと		あてはまるものすべてに“○”を入力してください。 <input type="checkbox"/> ①全体の健康度向上のための生活習慣病対策 <input type="checkbox"/> ⑥事業の企画段階から「評価」を意識した事業設計 <input type="checkbox"/> ②一次・二次・三次予防の具体的な取組み <input type="checkbox"/> ⑦長期的効果を見るためのアウトカム評価・経済性評価の確立 <input type="checkbox"/> ③国保・衛生部門の有機的な連携による事業展開 <input type="checkbox"/> ⑧外部アドバイザーの必要性 <input type="checkbox"/> ④データ分析に基づいた健康課題の整理 <input type="checkbox"/> ⑨保険者機能としての保健事業の在り方について <input type="checkbox"/> ⑤PDCAサイクルに基づいた保健事業の展開 <input type="checkbox"/> ⑩その他( )											